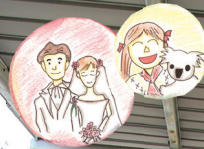


# 笛吹社協だより



# かけはし



## 《特集》災害に備えた平時からの助け合い

2018年11月19日

第5回笛吹市災害救援ボランティアセンター設置・運営訓練(境川)

くわしくはP3~5へ



## 雪害から5年 災害への考え方は大きく変わりました

### ～目次～

- P2 ▶▶ ● 福祉まつり・ボランティアまつり報告
- P3 ▶▶ ● **特集**
- P5 ▶▶ ● 災害に備えた平時からの助け合い  
雪害から5年 地域での災害に備えた活動
- P6 ▶▶ ● ボランティア功労賞・奨励賞受賞者のご紹介
- P7 ▶▶ ● デイサービスだより「クリスマスで心もほっこり」
- P7 ▶▶ ● 一宮地区複合的福祉サービス拠点建設事業について
- P7 ▶▶ ● 善意の寄付・寄贈の御礼
- P8 ▶▶ ● 第11回 笛吹市社会福祉大会のご案内

**基本方針**  
7つのあい

- 知りあい
- つながりあい
- みとめあい
- そでてあい
- ささえあい
- 見守りあい
- 助けあい



発行 社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会

住所/〒406-0822 笛吹市八代町南 917 電話/055-265-5182 FAX/055-265-5183

発行責任者：社会福祉法人 笛吹市社会福祉協議会 会長 早河正弘 広報「かけはし」には、赤い羽根共同募金の配分金が活用されています。

# 2018 福祉まつり・ボランティアまつり報告

みんなが“主役” みんなで“つくる”

## 第5回 いちのみや絆まつり 11/10

声をかけあい  
支えあいの中でつくれる  
「絆」まつり

一宮町内の保育園、小中学生、地域の方々によるステージ発表、体験スタンプラリー、出店、抽選等、実行委員会を中心に地域の皆さんの力で盛大に開催され5回の節目を飾りました。沢山のふれあいと笑顔があふれるお祭りとなりました。



## 第6回 芦川ボランティアまつり

～町民みんなで  
ボランティアの日～  
・ほかほか祭 11/10

芦川における秋の恒例イベント。午前中は、小学生による太鼓の発表と自由研究発表。午後は、「ボランティアまつり」植樹と美化活動をおこないました。芦川地域の人が沢山集まり、より良い関係がつけられています。



## 第35回 石和福祉健康まつり 11/11

石和町内の福祉、  
健康・医療の「温かい心」  
をつなげるまつり

「つなげよう、つたえていこう、温かい心 いさわ」をテーマに、福祉、医療関係の出展やボランティア、町内福祉施設の授産品を活用した記念品、福祉教育推進校のポスター展示など、老若男女が来場し盛り上がりしました。



## 第6回 みさか福祉健康まつり 11/11

気にかけてあって声かけあって  
地域住民の交流を深めよう

御坂町内の保育園、小中学生によるステージ発表、福祉体験ラリー、福祉用具展示、似顔絵コーナー、遊びの広場、おたのしみ抽選会、出店等に多くの皆さんが参加し楽しんで頂けたお祭りとなりました。



## 第6回 八代ふれあい祭り 11/18

笑顔でかわそうハイタッチ！

八代町内保育園児、小中学校のハツラツとした活動やバンド演奏、舞踊、健康体操、ダンスなど多彩な活動の様子を紹介できたステージ発表。様々な出店団体と小中学生ボランティアが地域の皆様と交流する事ができました。



## 第26回 春日居ボランティアまつり 11/18

ボランティア活動への理解と  
参加促進を目的に開催されました。

春日居福祉会館前をメイン会場に、900名を越える方が参加し開催されました。団体・小中学校のボランティア活動内容の展示や、模擬店などが行なわれ、今年度は118名の中学生ボランティアの申込みがあり、活躍してくれました。



# 災害に備えた平時からの

# 助け合い

助けあい

平成 26 年 2 月  
大雪による災害から 5 年

そんな中、地域住民で協力し助け合い、大雪を乗り越えることができました。笛吹社協でも2月20日に『笛吹市雪害ボランティアセンター』を開設し、被災した方とボランティアのマッチングを行いました。

雪害を通し、防災の意識が高まり、今まで他人事だった方も自分ごととなり意識するようになったと思います。そこで、今号のかけはしでは雪害から5年後の、地域で行っている『災害に備えた平時からの助け合い』を紹介いたします。

平成26年2月14日朝から15日朝にかけて山梨県内は大雪となり、国道20号では車が動かなくなるなど、交通網がまひ状態となり山梨が陸の孤島となりました。

地域福祉活動計画の事業に沿って  
地域での活動を紹介

第3回  
～拡大版～

つながりあい  
そだてあい  
ささえあい

## 7つの あい

知りあい  
みとめあい  
見守りあい  
助けあい

7つの地域あい  
みんなでいっしょにつくる共生のまち

第3次地域福祉活動計画

トラックの立ち往生



笛吹市でも各地で  
雪かきボランティア、炊き出し、  
無料休憩所の開放などが  
行われました。



平成 26 年 5 月発行 かけはし

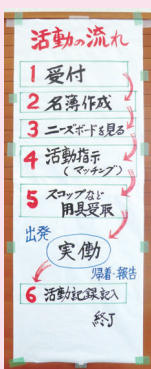
ハウスの倒壊



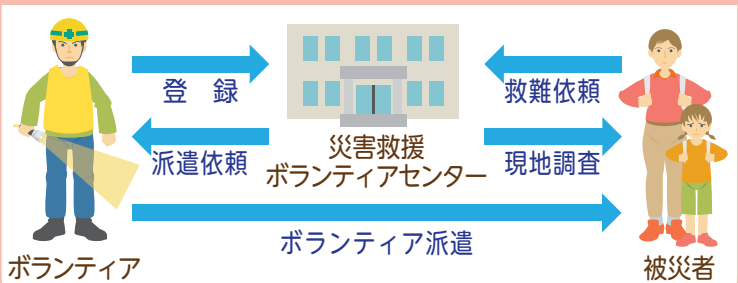
雪かきボランティア

## 災害救援ボランティアセンターについて知ろう！

災害救援ボランティアセンターは災害発生時に被災者のニーズとボランティアのできることをマッチングさせ、ボランティア活動を円滑に進めるために設置されます。



被災者の「求めること」とボランティアの「できること」を  
マッチング！



平成 26 年 2 月  
大雪時に開設された  
雪害ボランティア  
センターの様子



# 雪害から5年 地域での災害に備えた活動

## 石和 地域防災の広報活動



石和町地域福祉推進委員会防災グループでは公民館で、区長はじめ区役員や民生児童委員等の協力を得て、高齢者、障がい者などと地域で支える避難訓練の様子や、災害への備えの話を行うなど、災害に強いまちづくりへの普及啓発を進めています。

## 芦川 災害炊き出し訓練

芦川町では立地条件上、災害時には孤立してしまう可能性があることに加えて、人口の約6割の方が高齢者です。そのため、男性、女性問わず炊き出しができるように平成28年3月から毎年訓練を行っています。今では、炊き出しの他に三角巾による応急手当や簡易担架作成など、非常事態に対応できる地域を目指すために訓練を行っています。



## 八代 “黄色い旗” で安否確認



八代町南区では、“黄色い旗”を南区全戸約650戸へ配布し、防災の日には実際に外から見える位置に旗を掲げる訓練が継続的に行われています。災害時に無事な方々が自宅前に旗を掲げ、“私たち家族は全員無事です”と自主防災組織の役員等に知らせることができ、区民全員の迅速な安否確認につながります。

## まとめ

平成23年の東日本大震災で今までの災害への意識が変わり、平成26年の大雪では山梨が被災地となり、災害が他人事ではなくなりました。これをきっかけに笛吹市でも見守り活動や声かけなども行われるようになり、災害時に助け合えるネットワークを作る動きが増えました。

笛吹社協でも地域の皆さまと連携を図り、平時からの備えを行っていききたいと思います。

## 助け合いの「お手伝いバンダナ」

平成23年の東日本大震災をきっかけに当事者や家族の人たちが中心になって作られました。このバンダナは真ん中で三角に折ることで「お手伝いしてください」「お手伝いできます」というメッセージを伝えることができます。日頃からいつでもお手伝いしてほしい時には、このバンダナで状況を伝えることができます。バンダナを希望される方は、「支援センターふえふき」までお問い合わせください。TEL.055-263-1777



## 災害救援ボランティアセンター 設置・運営訓練

平成26年2月に、山梨県で記録的な大雪に襲われたことを覚えていますか？この大雪による災害支援のため、笛吹社協では初めて雪害ボランティアセンターを開設・運営しました。その経験を基に、毎年、設置・運営訓練を行い、行政・社協をはじめとする機関や関係者との連携を強化することで、有事に円滑なセンター設置・運営が行えるように取り組んでいます。

平成30年11月29日開催

## 第5回笛吹市災害救援ボランティアセンター設置・運営訓練 ~境川スポーツセンター~



運営訓練



がれき撤去の訓練



炊き出し訓練

第5回訓練の様子(鏡川)

今年度の訓練は笛吹社協主催、笛吹市共催、笛吹市ボランティア連絡会・笛吹青年会議所協力のもと実施しました。訓練は笛吹市内で震度6弱の観測から4日後を想定し、約100人の方に参加していただきました。毎年行われている災害救援ボランティアセンターの全国からのボランティアの受付訓練に加え、新しい取り組みとして、『炊き出し訓練』『発電機の設置訓練』『支援物資の仕分け』『がれきの撤去』など、より実践に近い訓練を行いました。今後も訓練を継続していくことで災害に強いまちづくりに取り組みたいと思います。

## 障がい者参加の防災訓練

地域の防災訓練に障がいのある方にも参加していただき、地域の人たちとお互いにできることを確認し合っています。どんな障がいがあっても困らないように経路の確認や薬等必要なものを持って避難できたかどうかの確認を行っています。



平成30年に実施した防災訓練の様子です

## 雪害後、毎年開催



第1回(御坂)



第2回(春日居)

~過去の訓練の様子~



第3回(八代)



第4回(一宮)



医療法人 立史会  
いま い せい けい げ か い いん  
**今井整形外科医院 様**  
今の自分より元気で健康になるために。

今井整形外科医院様は、積極的に地域に出向いて、健康で介護予防に必要な専門的な知識と運動を住民に教えてくださっています。平成27年度から、年間50回程度ボランティアで笛吹市介護予防事業やってみるじゃん健康運動指導士の川上さんに来ていただいております。「僕の名前はよっちゃん」とユーモアあふれる自己紹介からスタート。教えていただく運動も適切でわかりやすく、参加者の皆さんと笑いのたえない講座が大好評です。



笑いと健康づくりのヒントが盛りだくさん！



か い だま  
**甲斐けん玉クルー 様**  
けん玉で山梨を元気に！！

甲斐けん玉クルー様は、山梨県全域を活動拠点とする作業療法士（リハビリテーション専門職）で構成された、けん玉プロボノチームです。児童館や医療・福祉施設、地域のイベントにて、作業療法の知識とけん玉を活かし、子どもから高齢者まで健康促進や介護予防等を啓発しています。リハビリテーション専門職による確かな技術と知識に加え、若い力で地域貢献に益々のご活躍が期待されています。



けん玉して元気になるじゃん！



**ピーチーズ 様**

桃のように何歳になっても  
ぴちぴちな5人グループ。

ピーチーズ様は小林八重子様、城千鶴様、小澤美智子様、芦澤和子様、平松由美子様で結成されたボランティアグループです。メンバーはそれぞれピアノ、オカリナ、大正琴の稽古をしており、「地域を盛り上げたい」という思いから平成26年7月に「ピーチーズ」を結成。以降、笛吹市介護予防事業やってみるじゃんや高齢者交流会、地域の福祉施設等において、ピアノ、オカリナ、大正琴の演奏やレクリエーションを通じて交流を図っています。最近ではスコップ三味線で参加者を巻き込み、会の最後を盛り上げています。5人が奏でる音色に皆さん癒されています。



皆さんと一緒に身体を動かし、歌って踊って楽しんでいます。



やまなし はんばい  
**山梨ヤクルト販売(株) 様**  
地域のみなさまの健康のために。

山梨ヤクルト販売様は、『健康で安心なまちづくりに貢献し、地域のみなさまを幸せにする』を企業理念に、地域に密着した健康づくりに取り組んでおられます。笛吹市介護予防事業やってみるじゃんでは、身近な健康をテーマに5年以上にわたり年間50～90回健康講座を開催していただき、参加者の健康づくりに役立っております。また、「ふえふき地域見守りネットワーク」の協定も結んでおり、宅配ネットワークを生かした日々の業務の中で地域住民の見守りをしていただいております。



なかでもウン知育(おなか元気)の講座は大好評です。

善意の寄付・寄贈の御礼

皆さまから寄せいただいた寄付・寄贈は笛吹市の福祉のために活用されています。皆さまの温かいご協力ありがとうございます。 ※順不同になります(10月～12月)

やました農園 様 [石和]  
>石和町の地域福祉推進のために  
3,800円

山下真弥 様 [石和]  
>障がい者地域活動支援センターの利用者のために  
米15kg

菊嶋節子 様 [石和]  
>高齢者や障がい者のために  
ニット帽20個、ネックウォーマー4個(手編み)

笛吹市立石和南小学校 様 [石和]  
>石和町内の施設の利用者のために  
タオル23枚、手ぬぐい2枚

御坂町体育協会ゴルフ部 様 [御坂]  
>御坂町の地域福祉推進のために  
19,500円

昭和31年卒石和高校普通科同級生 様 [御坂]  
>御坂町の地域福祉推進のために  
26,050円

笛吹市立御坂西小学校 様 [御坂]  
>高齢者や障がい者のために  
タオル86枚、ハンカチ11枚、石鹸122個

花柳彩三郎日本舞踊研究所 様 [一宮]  
>笛吹市の地域福祉推進のために  
100,000円

笛吹市ゴルフ連盟一宮支部 様 [一宮]  
>一宮町の地域福祉推進のために  
ワイヤレスマイク付き拡声器スピーカー、ハンドマイク、卓上マイクスタンド、CDラジカセ、延長コード

雨宮隆 様 [八代]  
>笛吹市の地域福祉推進のために  
100,000円

八代地区更生保護女性会 様 [八代]  
>八代町の地域福祉推進のために  
20,000円

八代教会 様 [八代]  
>八代町の地域福祉推進のために  
350,000円

八代町老人クラブ連合会・八代町身体障害者福祉会 様 [八代]  
>八代町の地域福祉推進のために  
中古車椅子4台

八代町身体障害者福祉会 様 [八代]  
>八代町の地域福祉推進のために  
5,000円

笛吹市赤十字奉仕団八代分団 様 [八代]  
>八代町の地域福祉推進のために  
6,500円

笛吹市立八代小学校 様 [八代]  
>福祉施設の利用者のために  
タオル・手ぬぐい100枚、石鹸110個

マックスバリュ東海株式会社 様 [静岡県]  
>デイサービスの利用者のために  
車椅子1台

匿名希望  
>デイサービスの利用者のために  
コンパクト折りたたみシャワーベンチ

～デイサービスだより～  
クリスマスで心もほっこり

春日居デイサービスでは年に数回、どなたでも参加できるイベントを開催しています。12月のクリスマス会では手作りのプレゼントや音楽を楽しみながら地域の方々やボランティア、利用者の皆さんと楽しい時間を過ごしました。春日居デイサービスは、温泉もあり心も体も「ほっこり」する癒しのデイサービスです。ぜひ一度おこしください。



一宮地区複合的福祉サービス  
拠点建設事業について

笛吹市社会福祉協議会は、住み慣れた地域において、誰もが分け隔てなく支え合う、共生型社会の構築を推進しています。この度、一宮地区の福祉拠点として複合的福祉サービス施設を建設し、**共生型の多世代交流・多機能の福祉拠点とした地域づくりに取り組みます。**

- 介護保険サービス ●障害福祉サービス
- 地域の皆さんが集える場

2020年の開設に向けて、準備を進めています。



や え つる  
**八重鶴 様**

オカリナとピアノで皆様と  
共に楽しい時間を作ります。

八重鶴様は平成27年4月に小林八重子様、城千鶴様で結成されました。ピアノを小林八重子様、城千鶴様はオカリナを担当し、笛吹市介護予防事業やってみるじゃんや、ふれあいいきいきサロン、地域の福祉施設等において、皆さんが楽しみながら、口ずさめるよう童謡や歌謡曲を演奏しています。懐かしいメロディーに「唄えて楽しかった」「演奏で元気をもらった」等、大勢の方から喜ばれています。また、皆さんと楽しみながらできる体操も取り入れ、仲間づくり、健康づくりを行っています。



楽しく脳トレ体操を行っています。

「安心して暮らせる幸せあふれるまちづくり」の実現をあなたの寄付で応援してください

笛吹市協では、個人の方、企業や団体からの寄付金を本所及び各地域センターにおいて常時受け付けています。お寄せいただいた寄付金は、地域福祉活動に活用させていただきます。ご寄付にあたっては、地域や事業所を指定することや、寄付金の使い道を指定する「指定寄付」も受け付けておりますので、寄付金が有効に活用されるようにご相談に乗らせていただきます。

お問合せ先

- 本所 TEL.055-265-5182
- 石和地域事務所 TEL.055-262-1267
- 御坂地域事務所 TEL.055-287-7355
- 一宮地域事務所 TEL.0553-47-2288
- 八代地域相談窓口 TEL.055-265-2240
- 境川地域事務所 TEL.055-266-5911
- 春日居地域事務所 TEL.0553-26-3667
- 芦川地域事務所 TEL.055-298-2170

# あなたにも私にもできるまちづくり

そでてあい

～支え合う活動への第一歩～

※11月発行のかけはし 30' 秋号と合わせてご覧ください

日時 平成31年 **2月24日(日)** 13時～16時

会場 **笛吹市スコレーセンター**  
〒406-0035 山梨県笛吹市石和町広瀬 626-1

## 第1部 記念式典 表彰状授与、感謝状贈呈

手話通訳・託児サービス(無料)があります。

笛吹市の社会福祉の発展に貢献された方々や今後の福祉活動が期待される方々への顕彰を行います。  
今年は**7名14団体**の方々が表彰されます。

## 第2部 基調講演・シンポジウム

講師・コーディネーター **永田 祐氏** 同志社大学社会学部 教授



基調講演では、地域共生社会の実現を目的とした我が事・丸ごとの地域づくりについて、国の動向や全国の実践例を踏まえながら話をします。シンポジウムでは、シンポジストの皆さんの活動について、実践内容と始めたきっかけを伺った後、参加された皆さんへ「支え合う活動への第一歩」を踏み出すためのメッセージを一言ずついただきたいと思ひます。会場の皆さんからの質疑応答の時間も設けさせていただきます。「自分にもできるまちづくり」は何かを一緒に考え、参加された皆さんが支え合う活動への第一歩を踏み出すきっかけとなれば幸いです。

### シンポジスト



**望月 寛太氏**  
笛吹高等学校3年



#### 『笛吹高校野球部の活動について』

笛吹高校では、「やる気・元気・笛吹・本気」のスローガンのもと、地域と共に歩み地域貢献に取り組んでいます！私は今年で卒業ですが、次の世代に伝統を引き継ぎ、これからも活動を継続していきたいと思ひます。



**北野 勇樹氏**  
笛吹青年会議所  
第40代理事長



#### 『ご縁に感謝』

大人の学び舎ともいわれる「青年会議所」の活動を通じて多くの出会いや感動があります。「ご縁」があるから出会いがあり、「機会」を与えていただくから応えることができます。感謝の気持ちを忘れずに、自分にできる事から始めてみませんか？



**田村 悟氏**  
笛吹市一宮町  
一ノ宮区 区長



#### 『一宮町一ノ宮区の支え合う活動の取り組み』

長い教員生活を終えた私が地域で支え合う活動の第一歩を踏み出したきっかけは、公民館長として、笛吹市介護予防事業やってみるじゃんに関わりを持った事からでした。やってみるじゃんから始まった地域づくりを発表します。



**石原 和加子氏** 笛吹市保健福祉部福祉総務課 課長  
笛吹市の総合計画、第3次地域福祉計画について、お話をさせていただきます。

#### 霜鳥 みどり氏

笛吹市社会福祉協議会 地域福祉課 石和地域事務所  
笛吹市社会福祉協議会の住民活動支援について、第3次地域福祉活動計画の石和町内での実践例をもとにお話をさせていただきます。



12月26日(水)、八代福祉センターにおいて、シンポジウムのリハーサルを行いました。高校生の望月さんが、キラキラした表情で堂々と話をする姿が印象的でした。皆さんもぜひ、見に来てくださいね！



### 参加申し込み用紙

- ・事前の申込みにご協力をお願い致します。
- ・当日の参加もOKです。

【お問合せ先】 第11回 笛吹市社会福祉大会 実行委員会(事務局 笛吹市社会福祉協議会) 笛吹市八代町南917 TEL 055-265-5182

お名前 ※複数可			
地域	①石和 ②御坂 ③一宮 ④八代 ⑤境川 ⑥春日居 ⑦芦川 ⑧市外	年代	①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代 ⑧80代以上
託児利用 (無料)	<input type="checkbox"/> 希望あり 託児を希望される方は チェックを入れてください。	保護者の電話番号 ( )	

#### 【個人情報の取扱いについて】

本用紙を提出する際は、下記の内容をお読みいただき、個人情報の取扱いについてご同意の上、ご提出ください。

記載いただいた個人情報は、本大会参加者の把握及び参加者名簿の作成のために使用します。それ以外の目的では使用いたしません。お預かりした個人情報は適切な管理のもと、当会の個人情報保護方針に基づいて取り扱います。原則として本人の同意なく第三者へ開示・提供いたしません。



※「地域」と「年代」は該当する項目に○印をつけて下さい。

QRコードを読み取ると、申し込みフォームが表示されます。こちらからも申し込みできます。

**FAX 055-265-5183**